

受付番号： 2010-229

研究課題名

開腹手術を受けた小児患者における術後合併症予測因子の検討

研究期間 西暦 2010年 9月（倫理委員会承認後）～ 2015年 9月

対象材料

- 病理材料（対象臓器名）
生検材料（対象臓器名）
血液材料 遊離細胞 その他（病歴診療記録）

上記材料の採取期間 西暦 2010年 7月～2010年 8月

意義、目的

今回の検討により“Apgar Score for Surgery.”の術後合併症予測の有用性が示されれば、術後合併症の発生予測が可能となり、更にきめ細かく患者に合わせた術後治療が可能になると考えられる。尚、“Apgar Score for Surgery.”とは患者の術中の最低心拍数、最低平均血圧、出血量を点数化したものである。

方法

対象は東北大学小児外科で開腹手術を受けた患者 30 人とする。患者の術中の最低心拍数、最低平均血圧、出血量、術後 30 日以内に起こった合併症の有無について診療録より情報を収集する。

患者の術中の最低心拍数、最低平均血圧、出血量を Gawande の“Apgar Score for Surgery.”と同様に点数化し、合併症との関連を検討する。

問い合わせ・苦情等の窓口

仙台市青葉区星陵町 1-1 東北大学小児外科

TEL : 022-717-7237 Fax: 022-717-7240

e-mail アドレス : kazama@ped-surg.med.tohoku.ac.jp

風間 理郎